

公共交通利用のメリット・自家用車のデメリット

鳥取県は1世帯当たりの自動車保有台数が約1.4台(令和3年3月末)*と全国的に見ても上位に位置しています。便利な反面様々な問題も提起されている自家用車、比較すると公共交通の魅力が見えてきます。

*一般財団法人自動車検査登録情報協会 資料より

クルマは負担大 公共交通は家計にやさしい

一日あたりのコスト

1,000CCのクルマを保持しているだけの場合

保険・税金 駐車場代 etc. 約 **¥2,000** /日

購入費・事故・罰金 もちよつといいクルマの場合

約 **¥3,000 ~ ¥5,000** /日

出典:国土交通大学校・自動車と公共交通を賢く使う交通戦略

公共交通を利用すると…

例:

米子市だんだんバス **¥150** /日 ※1ヶ月定期:4,500円を30日で割り

境港市はまる一ふバス **¥33** /日 ※3ヶ月定期:3,000円を90日で割り

JR(米子~境港) **¥330** /日 ※1ヶ月定期:9,900円を30日で割り

定期でこんなにお得!!

地方ではクルマは一家に複数台が一般的です。維持費は高額で、そのために働いているかのように家計を圧迫しています。

保有台数を減らし公共交通を利用すれば、経費削減につながります。



コスト

column

バス・鉄道が消える…一番困るのはあなたかもしれません。~「便利さ」や「手軽さ」と引換に大切なものを失います~

路線バスは、利用者の減少から路線の縮小や廃止が続いています。マイカー利用が多い鳥取県。だからこそ、この問題は危機感を持ちにくいことかもしれません。しかし、なくなって困るのは車を利用できない高齢者や子どもたち、そして将来、高齢となり運転ができなくなったあなた自身です。路線バスを守る一番の方法はみんなで利用することです。「自分は車を運転できるから関係ない」と思う人も、将来、公共交通を必要とする時が来ることを考え、今から利用を始めましょう!

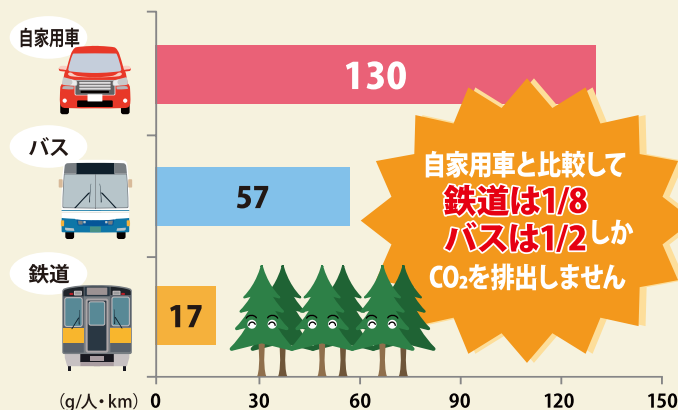
環境を考えるなら車より公共交通がGOOD

自家用車は、一人を1km運ぶのにおよそ130gのCO₂を排出しています。対して鉄道はその約13%、バスは44%。クルマに乗るのを少し控えるだけで、CO₂削減に貢献できます。



環境負荷

一人を1km運ぶのに排出されるCO₂の量の比較

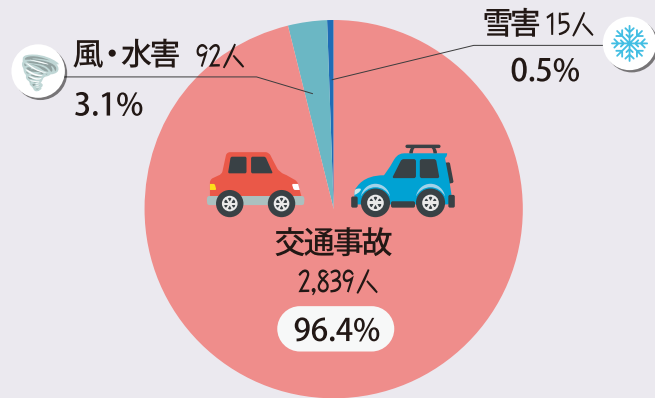


自家用車と比較して
鉄道は1/8
バスは1/2しか
CO₂を排出しません

出典:国土交通省HP 輸送量当たりの二酸化炭素排出量(旅客)(2019年度)

死亡リスクは自然災害の30倍!!!

R2年 全国の交通事故死者数・自然災害死者数



出典:内閣府防災白書附属資料、e-Stat「道路の交通に関する統計 / 交通事故死者数について」より作成

事故リスク



交通事故による死者数は、安全への意識の高まり等により年々減少傾向にあります。しかしながら自然災害と比較した場合、そのリスクは令和2年でまだおよそ30倍となっています。事故の少ない公共交通を利用することで、交通事故の加害者・被害者になるいずれのリスクも低減できます。

健康寿命



バスや鉄道を利用する人の消費カロリーはクルマを利用する人の倍以上で、肥満率は2/3に抑えられています。通勤手段が健康に及ぼす影響は意外と大きいかもしれません。通勤等の移動方法を変えるだけで運動不足は簡単に解消できます。

バス・鉄道はダイエットの味方!!!

自動車利用者と公共交通利用者の1時間あたりの消費カロリーの差

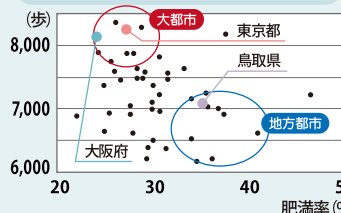


出典:エコ通勤のメリット[交通エコロジー・モビリティ財団]

自動車利用者と公共交通利用者の肥満率の差



肥満者割合と運動量の関係(男性)



出典:国土交通大学校・自動車と公共交通を賢く使う交通戦略